

平成30(2018)年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業 地域日本語教育スタートアッププログラム 報告書

団体名

甲賀市

(都道府県:滋賀県)

1. 当該地域の情報 (2019年 3月現在)

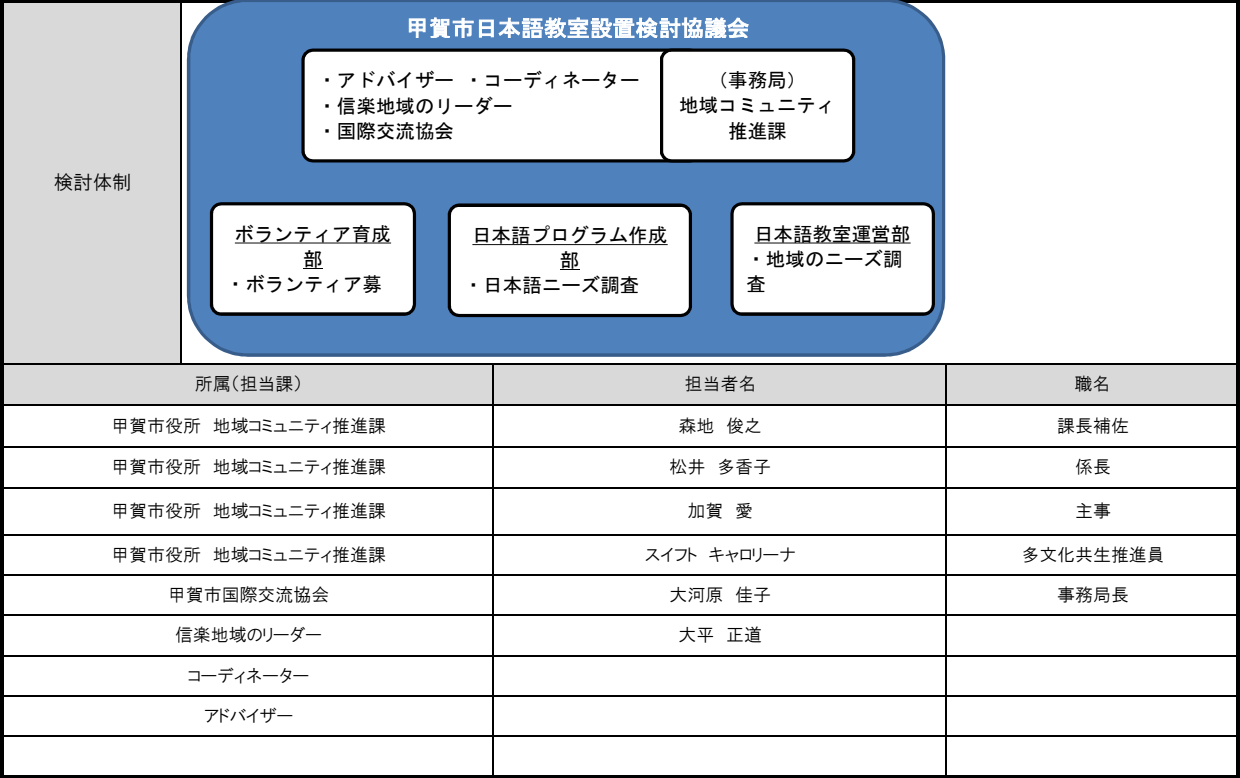
地域の課題	甲賀市は、滋賀県内でも有数のものづくり企業の集積地であり、市全体では2018年4月末現在、総人口91,116人にに対し、外国人人口が3,003人と、その比率は約3.3%で現在も増加傾向にある。総人口が減少が進む中で、定住化傾向にある外国人住民を一人の市民として地域で活躍いただくことが重要である。このためには、「日本語」によるコミュニケーションが必要であり、このために外国人住民には「やさしい日本語」が理解できるレベルまで日本語を学習することが求められる。しかしながら、現在開催している水口地域以外の地域では開設ができない状況となっており、その主な理由としては、限られたボランティアにより実施されていること、信楽地域から現在の会場までの公共交通網が不便かつ遠方であり、自家用車があっても毎週末開催の教室に通い続けるのが困難であること等の理由から、信楽地域における日本語学習の機会が確保できない。
在住外国人数 外国人比率	人口11,700人 外国人237人 2.0 % (信楽地域のみ)
在留外国人の 状況	【主な国籍と人数】①ブラジル ②中国 ③ペルー ④フィリピン ⑤韓国又は朝鮮 ⑥ベトナム ⑦インドネシア ⑧ドミニカ ⑨米国 ⑩ベネズエラ 【在留資格】①永住者 ②定住者 ③技能実習2号口 ④特別永住者 ⑤技能実習1号口 ⑥日本人の配偶者等 ⑦技能 ⑧技術・人文知識・国際業務 ⑨家族滞在 ⑩永住者の配偶者等 【滞在年数・在留期間などの状況】 定住化が進んでいる。
在住外国人の 日本語教育の現状	甲賀市内の他地域(主に水口町内)では、国際交流協会と連携し、外国人が日本語を学習し、地域とつながり、安心安全に生活するための支援事業として、前期・後期に分けて土曜日と月曜に、日本語学習支援ボランティアグループを中心に日本語教室を開催した。ただし信楽地域では、日本語教室開催がなく、空白地域と見なし本プログラム活用を推進している。

2. 事業の内容

本プログラム取組年 数	1年目			
事業の目的	信楽地域に存在する外国人住民に対して日本での生活上に必要とする日本語学習の機会を提供し、地域の中で安心して暮らせる環境整備を行う。			
事業の概要	・市担当課・市国際交流協会、アドバイザーによる日本語教室設置検討協議会開催。 ・おしゃべりカフェや意見交換会等を開催し、外国人住民と地域の交流促進をはかる。 ・H30年8月、信楽地域在住の20歳以上の外国人住民に日本語学習についてのアンケート調査を実施。 ・外国人コミュニティ及び関係団体へのヒアリング、市民に対するアンケート調査の実施とその分析を行った。アンケートを分析してみると、現在日本語を学んでいると回答した多くの外国人住民は、個人で入手した教科書やまたインターネットでの講座等を利用し、独学で日本語を学習していると回答した。また学習している主な理由は、日本で生活していくために必要であるとの回答が最多であり、近所の日本人との円滑なコミュニケーションを図りたいとの希望が次に多かったことから、日本語での日常のコミュニケーションが生活していく中で重要だと感じていることが分かった。現在日本語を学んでいない外国人住民の年齢層は40代が多く、働き盛りの年代だと考えられることから、現在学んでいない主な理由が就労による時間的拘束、そして金銭的に難しいとの回答が多かった背景が理解できる。また、無料の教室や日本語教室が近辺にあれば、受講するとの声が多く、今後の教室設立に向けて参考になると考える。日本語教室の情報が無いとの理由も多くあり、行政の情報発信の必要性を再確認したとともに、就労している外国人住民により効果的に情報提供できる方法を考える必要性が高いことも分かった。			
事業の対象期間	2018年4月～2019年3月			
前年度の実績 (2年目以降の 団体のみ記載)				
担当コーディネーター	氏名	所属	職名	担当する役割
	大平 正道			日本語教室設立および運営
	他については現在調整中です			
担当アドバイザー	氏名	所属	職名	継続・新規の別
	山田 泉	にんじんランゲージスクール	校長	継続○新規(年目)
	犬飼 康弘	(公財)ひろしま国際センター	日本語常勤講師	継続○新規(年目)
	藤井 美香	(公財)横浜市国際交流協会	シニアマネージャー	継続○新規(年目)

3. 日本語教室の設置に向けた検討体制

(1) 地域における日本語教育の実施に向けた検討体制



(2) 日本語教室の実施に向けた事業運営体制図



4. 具体的な取組内容

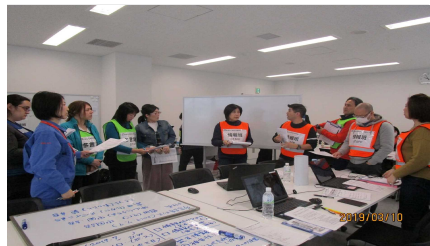
(1)年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの主な活動	アドバイザーの来訪
2018年 4月			
2018年 5月			
2018年 6月			
2018年 7月			
2018年 8月	・当該地域への外国人住民へのニーズ調査	・日本語教室ニーズ調査の分析等	
2018年 9月			
2018年 10月			
2018年 11月			
2018年 12月	・外国人住民へのニーズ調査の結果分析		
2019年 1月	★教室の方向性について担当アドバイザーと協議		・教室の方向性等について助言
2019年 2月	・教室開設に向けて信楽値域との協議		
2019年 3月	★日本語教育スタートアップ事業検討についてアドバイザーと協議		・教室の方向性等について助言

(3)その他関連する取組

取組名称	実施期間	内容
2018年度国際交流フェスタ	2018年12月9日(日) 11:00～16:00	国際交流フェスタについては、国際交流協会が地元の高校生を実行委員長に実行委員会形式で企画・運営をしています。いろいろな国のダンスをステージ発表、展示・体験コーナー、飲食コーナーを設け1,200名の来場者を迎えて盛大に開催しました。市は防災をテーマに、多言語の防災マップや非難グッズの展示を行いました。
甲賀市災害時多言語情報センター設置・運営訓練	2019年3月10日 9:00～11:30(2時間半)	災害時多言語支援センターは、言葉や習慣の違いから情報を入手しにくく、支援を受けられない恐れのある外国人のため、必要な情報の提供や支援を多言語で行う拠点です。当日は、豪雨により河川の氾濫や浸水害、土砂災害が発生した甚大な災害を想定し、センターの設置・招集・情報収集・情報発信、相談の訓練を実施しました。

【主な活動】



5. 今年度事業全体について

進捗状況	現在日本語教室が設置されていない信楽地域に在住の外国人住民を対象に、日本語学習にかかる現状を把握するため、ニーズ調査を行った。また、信楽地域で積極的に多文化共生・国際交流に携わっておられるキーパーソン(2名)と会い、信楽地域在住の外国人住民の状況やすでに顕在化している課題などについて、聞き取りを行った。アドバイザー(3名)の方と今後の日本語教室について検討会議を行った。
成果	ニーズ調査を行い、信楽地域の外国人住民の方の日本語学習に対する考えや要望を知ることができた。
地域の関係者との連携による効果	キーパーソンとなる方と会い、地域の外国人住民の状況を聞き取りを行い、信楽地域の外国人住民の現状を知ることができた。また、今後連携・協働について考えられる信楽地域内の企業等の洗い出しも行った。アンケートを分析してみると、個人で入手した教科書やインターネットでの講座等を利用し、独学で日本語を学習していると回答が多く、主な理由としては生活していくための必要最低限の日本語の習得、また、近所の日本人との円滑なコミュニケーションを図りたいとの希望が多かった現在日本語を学んでいない外国人住民の年齢層は40代が多く、働き盛りの年代だと考えられることから、現在学んでいない主な理由が就労による時間的拘束、そして金銭的に難しいとの回答が多かった背景が理解できる。また、無料の教室や日本語教室が近辺にあれば、受講するとの声が多く、今後の教室設立に向けて参考になると考える。日本語教室の情報が無いとの理由も多くあり、行政の情報発信の必要性を再確認したとともに、就労している外国人住民により効果的に情報提供できる方法を考える必要性が高いことも分かった。
コーディネーターの主な活動	特になし
アドバイザーの主な助言	・当事者のヒアリングして、地域のニーズにあった日本語教室を立ち上げていかないといけない。 ・地域と外国人住民とのつながりのきっかけとなる場づくりをする。 ・教室を通してお互いの文化を理解することが大切である。 ・
今後の課題	・地域のキーパーソンとなる方の発掘をし、日本語教室ボランティアとして活動できるよう育成していく必要がある。 ・ニーズに寄り添った日本語教室を開催し、地域住民主体に学習と交流の場として公民館を拠点として教室活動を展開することによって、地域住民と外国人が共に主体となる地域日本語教育推進のための体制整備を図る。
今後の予定	年度当初に提出した今年度の計画では、平成30年10月には日本語教室の設置を検討する、「日本語教室設置検討協議会」を立ち上げる予定であったが実施できていない。 リソースでもある甲賀市国際交流協会は、信楽地域の詳しい情報やネットワークをお持ちの方がたくさんおられます。日本語指導されている方や教室の運営業務をされている方もおられるので今後は連携し、協働で取り組み、日本語教室設置運営協議会を立ち上げ、信楽地域日本語教室を開設をする。

本件担当 : 甲賀市役所 地域コミュニティ推進課 交流推進係